

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月30日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0870500410		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム ひまわり		
所在地	茨城県石岡市東府中1-10 (電話) 0299-35-8801		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成20年12月9日	評価確定日	平成21年3月30日

【情報提供票より】 (平成20年11月12日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年5月2日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	18 人	常勤	11人, 非常勤 7人, 常勤換算 4.2人

### (2) 建物概要

建物構造	平屋 造り		
	1 階建ての	1	階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,500 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	-
食材料費	朝食	250 円	昼食 350 円
	夕食	300 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要(平成20年11月12日現在)

利用者人数	23 名	男性	5 名	女性	18 名
要介護1	9 名	要介護2	2 名		
要介護3	9 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	64 歳	最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	美野里病院、宇野歯科
---------	------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「やさしく、しんせつ、ていねいに」を運営理念に掲げ、利用者の一人ひとりに寄り添いコミュニケーションを図りながらその人らしく生活できるよう日々実践に努めている。  
特に遊びリテーションに力を入れ、生活感や季節感を取り入れられるよう利用者と共に手作りの室内飾りを作成するなど、居心地よく暮らせるよう管理者と職員が支援している。  
設置法人が運営している病院や福祉施設があり、利用者の健康管理や緊急時の対応など適切な支援が受けられ、利用者や家族は安心して利用している。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>重度化した場合の対応指針を作成しているが、終末期のマニュアルについては研修等で勉強中であり作成するまでには至っていない。 利用者や家族の意見や要望を十分確認し、毎日のミーティング時や定期会議のなかで話し合い介護計画を作成している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価の結果は全職員に報告し、閲覧できるようにしている。 管理者と職員は外部評価の意義や目的を理解し、前回の評価を踏まえて改善点の経過を確認するとともに、ユニット毎の定期会議で意見交換をしながらサービスの質の向上に活かしている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は3~4ヶ月毎に開催し外部評価の結果を報告している。 家族や地域への理念の浸透、地域交流、市との連携、運営に関する家族の意見の反映など積極的に意見を求めているが、運営方針を話し合うまでには至っていない。 運営推進会議は2ヶ月に1回開催できるよう努めるとともに、外部評価の課題や運営に関する意見を積極的に求め、出た意見をサービスの質の向上に活かすことを期待する。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>重要事項説明書に苦情相談受付窓口と第三者機関を明記し利用契約時に説明している。 家族の意見を汲みあげられるよう意見箱を設置している。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の老人会活動に参加している。 市内の花祭りなどの行事に参加している。 ボランティアの訪問があったり、事業所の納涼祭やコンサートを通して地域の人々と交流している。</p>
	<p>重点項目④</p>

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「やさしく、しんせつ、ていねいに」の法人の理念を共有し、その人らしい暮らしを支えることを理念に掲げている。 地域密着型サービスとしての理念に見直すまでには至っていない。	○	地域の中で暮らしを支える役割を目指し、事業所と地域との関連の強化を謳う理念の見直しを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティング時に全職員が理念を振り返る機会となるよう話し合い、日々実践に努めている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の老人会活動に参加している。 市内の花祭りなどの行事に参加している。 ボランティアの訪問があったり、事業所の納涼祭やコンサートを通して地域の人々と交流している。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価結果は全職員に報告し、閲覧できるようにしている。 管理者と職員は外部評価の意義や目的を理解し、前回の評価を踏まえて改善点の経過を確認するとともに、ユニット毎の定期会議で意見交換をしながらサービスの質の向上に活かしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は3～4ヶ月毎に開催し外部評価結果を報告している。 家族や地域への理念の浸透、地域交流、市との連携、運営に関する家族の意見の反映など積極的に意見を求めているが、今後の運営方針を話し合うまでには至っていない。	○	運営推進会議は2ヶ月に1回開催できるよう委員に働きかけることが望まれる。 外部評価の課題や運営に関する意見を積極的に求め、出た意見をサービスの質の向上に活かすことを期待する。
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催のグループホーム連絡会に定期的に参加している。 市担当者と連携が図られていない。	○	市と連携しサービスの質の向上に取り組むことを期待する。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ひまわり便りを季刊で送付し利用者の暮らしぶりを報告している。 金銭管理も定期的に家族の承認を受けている。 健康状態の変化時には電話で報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情相談受付窓口と第三者機関を明記し、利用契約時に説明している。 家族の意見を汲みあげられるよう意見箱を設置している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は利用者への影響を考慮し最低限に抑えている。 管理者は離職予防のため職員とよく話し合い、具体的な関わり方をさりげなくアドバイスしたり、馴染みの職員に支援を受けられるように働きかけている。 職員のレクリエーション活動を通して職場環境を整えている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験年数や資格に応じた研修が受けられるよう研修情報を提供するとともに、該当する職員には積極的に受講を促し、研修が受けられる体制をつくっている。 法人内外の勉強会に積極的に参加している。 研修後は報告書とともに報告講習を実施し、職員のスキルアップに努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県や市のグループホーム連絡協議会に加入し、職員が事業所間で交流している。 他施設のリハビリ体操などの見学を実施し、サービスの質の向上に活かしている。		
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前にホーム見学や体験利用を勧めている。 空いている居室を利用してショートステイの体制を整え、利用者が徐々に馴染みながら利用が開始できるよう計画している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と野菜作りや植物を育てながら共に学び合ったり、遊びリテーションを通して楽しみごとを共有するなど生活のなかで学び支え合う関係づくりをしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者や家族から思いや希望などを聴取するとともに記録している。 日々の生活のなかで表情や言動などから思いや意向の把握に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意向を面会時などに聴取するとともに、ミーティング時に日々の関わりのなかでの気づきを職員と意見交換し介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヵ月に1度見直している。 また、現状に応じて利用者や家族の意向・希望を面会時や電話で確認し、介護計画を見直している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体医療機関に入院した場合は、利用者や面会し早期退院に向けた支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の意向を確認し、継続して適切な医療が受けられるよう、かかりつけ医の通院支援をしている。 協力医療機関から月2回の往診、年2回の健康診断、週に1回の歯科診療などを受け入れ健康管理に配慮している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りに関する同意書や重度化した場合の対応指針を作成している。 また、色々な選択肢を提供したうえで同意を得ている。 かかりつけ医や職員で終末期の方針についての話し合いやマニュアルづくりまでには至っていない。	○	利用者や家族と話し合い双方の意思を確認するとともに、医療機関と連携を図り、重度化や終末期の対応についてマニュアルを作成することを期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の現状に合わせ個人専用トイレを設け、誇りやプライバシーに配慮した対応をしている。 個人情報の利用目的を明確にし、書面にて家族の同意を得ている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースで生活できるよう支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は静かなBGMを流し、職員と共に食事を摂っている。 誕生日などは利用者の嗜好を採り入れたメニューにしている。 各ユニット毎に外食の機会をつくり食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回各ユニットの入浴日に利用者の希望時間にあわせて入浴が楽しめるよう支援している。 失禁時などは随時シャワー浴で支援している。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	遊びりレーションに室内飾り作りなどを取り入れ、各ユニットの特色を出しながら一人ひとりの力を生かした支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候に合わせて散歩や近隣への買い物などの支援をしている。 市行事の花祭りや季節の果物狩りなどの外出支援をしている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の行動パターンを把握できるように努め見守り支援をしているが、防犯上施錠している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回防災訓練を実施している。 また、夜間の火災を想定した避難訓練も実施している。 地域の人々の具体的な協力が得られる体制や災害時に備えた食糧の備蓄をするまでには至っていない。	○	地域の人々の協力のもと安全対策が図られ、食糧の備蓄が整うことを期待する。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日食事は1400Kcal、水分は1300～1500ml摂取するように支援している。 食事量や水分量を記録するとともに、体重測定も定期的に行い増減を把握できるよう記録している。		
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には光を十分取り入れ、遊びリレーションで作成した季節感を感じさせる室内装飾が施され居心地よく過ごせるよう工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた電子ピアノやミシンを持ち込み手芸を楽しんでいる。 仏壇や使い慣れた椅子・家具類などを配置し居心地よく暮らせるよう工夫している。 習い事は利用者のできる範囲で支援している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。